

## 育苗期間薬剤一覧

RPA

病害虫名	薬剤名	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数
ムシ苗防止	タチカ <sup>®</sup> レースM液剤	32,4		500～1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り500mL	は種時又は発芽後	土壌灌注	1回
	タチカ <sup>®</sup> レースM粉剤	32,4		育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り6～8g		は種前	育苗箱土壌に均一に混和	1回
	タチカ <sup>®</sup> レン液剤	32		500～1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り500mL	は種時又は発芽後	土壌灌注又は灌注	2回以内
	タチカ <sup>®</sup> レン粉剤	32		育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り4～8g		は種前	育苗箱土壌に均一に混和する。	1回
褐条病	カスミン液剤	24		4～8倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り希釈液50mL	覆土前	は種した種粒の上から均一に散布する。	1回
	カスミン粒剤	24		育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5%)1箱当り30g		は種前	育苗培土に均一に混和する。	1回
				育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5%)1箱当り15～20g		覆土前	育苗箱には種した種粒の上から均一に散布する。	1回
根の生育促進	タチカ <sup>®</sup> レースM液剤	32,4		500～1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り500mL	は種時又は発芽後	土壌灌注	1回
	タチカ <sup>®</sup> レースM粉剤	32,4		育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り6～8g		は種前	育苗箱土壌に均一に混和	1回
	タチカ <sup>®</sup> レン液剤	32		500～1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り500mL	は種時又は発芽後	土壌灌注又は灌注	2回以内
	タチカ <sup>®</sup> レン粉剤	32		育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り4～8g		は種前	育苗箱土壌に均一に混和する。	1回
苗立枯細菌病	カスミン液剤	24		4～8倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り希釈液50mL	覆土前	は種した種粒の上から均一に散布する。	1回
	カスミン粒剤	24		育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5%)1箱当り15～20g		覆土前	育苗箱には種した種粒の上から均一に散布する。	1回
				育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5%)1箱当り30g		は種前	育苗培土に均一に混和する。	1回

病害虫名	薬剤名	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数
苗立枯病(トリコデルマ菌)	タコレート水和剤	M5,1		400～600倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り0.5%	は種時から緑化期 但し、は種14日後まで	灌注	2回以内
				800～1200倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り1%	は種時から緑化期 但し、は種14日後まで	灌注	2回以内
	ヘンレート水和剤	1		500～1000倍	育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5%)1箱当り500mL	は種時1回又はは種時とは種7日後頃の2回	灌注	2回以内
苗立枯病(ピシム菌)	タカレエースM液剤	32,4		500～1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り500mL	は種時又は発芽後	土壌灌注	1回
	タカレエースM粉剤	32,4		育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り6～8g		は種前	育苗箱土壌に均一に混和	1回
	タカレン液剤	32		500～1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り500mL	は種時又は発芽後	土壌灌注又は灌注	2回以内
	タカレン粉剤	32		育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り3～6g		は種前	育苗箱土壌に均一に混和する。	1回
	ナエファインフロアブル	U17		1000～2000倍	育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5%)1箱当り0.5%	は種時から緑化期	土壌灌注	2回以内
2000倍				育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5%)1箱当り0.5～1%	は種時	土壌灌注	2回以内	
苗立枯病(フザリウム菌)	タコレート水和剤	M5,1		800～1200倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り1%	は種時から緑化期 但し、は種14日後まで	灌注	2回以内
				400～600倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り0.5%	は種時から緑化期 但し、は種14日後まで	灌注	2回以内
	タカレエースM液剤	32,4		500～1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り500mL	は種時又は発芽後	土壌灌注	1回

病害虫名	薬剤名	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数
苗立枯病(フザリウム菌)	タチカレースM粉剤	32,4		育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り6～8g		は種前	育苗箱土壌に均一に混和	1回
	タチカレ液剤	32		500～1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り500mL	は種時又は発芽後	土壌灌注又は灌注	2回以内
	タチカレ粉剤	32		育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り3～6g		は種前	育苗箱土壌に均一に混和する。	1回
	ナエファインフロアブル	U17	2000倍	育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5%)1箱当り0.5～1%	は種時	土壌灌注	2回以内	
			1000倍	育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5%)1箱当り0.5%	は種時	土壌灌注	2回以内	
苗立枯病(リゾグナス菌)	タニコール1000	M5	1000～2000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り1%	は種時から緑化期 但し、は種14日後まで	土壌灌注	2回以内	
			500～1000倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り500mL	は種時から緑化期 但し、は種14日後まで	土壌灌注	2回以内	
	タニコール粉剤	M5	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り15～20g		は種前	育苗箱土壌に均一に混和する。	1回	
	タコレート水和剤	M5,1	400～600倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り0.5%	は種時から緑化期 但し、は種14日後まで	灌注	2回以内	
			800～1200倍	育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5%)1箱当り1%	は種時から緑化期 但し、は種14日後まで	灌注	2回以内	
	ナエファインフロアブル	U17	2000倍	育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5%)1箱当り0.5～1%	は種時	土壌灌注	2回以内	
			1000倍	育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5%)1箱当り0.5%	は種時	土壌灌注	2回以内	

病害虫名	薬剤名	RAC	毒劇	使用濃度	使用量	使用時期	使用方法	使用回数
幼苗腐敗症(もみ枯細菌病菌)	カスミン粒剤	24		育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5%)1箱当り15~20g		覆土前	育苗箱には種した種籾の上から均一に散布する。	1回
				育苗箱(30×60×3cm使用土壌約5%)1箱当り30g		は種前	育苗培土に均一に混和する。	1回

苗木枯病、褐条病、もみ枯細菌病等適用農薬一覧（◎防除指針に採用、○登録のあるもの）

薬剤名	対象病原菌等									
	トリコデルマ菌	ピシウム菌	リゾープス菌	フザリウム菌	褐条病	幼苗腐敗症 (もみ枯細菌病)	苗木枯細菌病	ムレ苗防止 根の生育促進	根の伸長および 発根促進	いもち病
タチガレエースM粉剤		◎		◎				◎		
タチガレエースM液剤		◎		◎				◎		
タチガレン粉剤		◎		◎				◎		
タチガレン液剤		◎		◎				◎		
ダコニール粉剤			◎							
ダコニール1000			◎							
ダコレート水和剤	◎		◎	◎						○ (苗いもち)
ベンレート水和剤	◎			○						○
ナエファイン フロアブル		◎	◎	◎				○		
カスミン粒剤					◎	◎	◎			
カスミン液剤					◎	○	◎			○ (苗いもち)
フジワン粒剤								○ ムレ苗防止	◎	○

※育苗期間に登録のある農薬について記載

### ☆糸状菌による苗木枯病

- ・フザリウム、ピシウム、リゾープス、トリコデルマ、リゾクトニア菌などによって発生する。
- ・育苗環境の不良や急変により、苗が不健康なときに発生しやすい。

#### フザリウム菌

局部的に発生し、地際部に白いかびが見られるほか、根を中心として白色～紅色のかびが認められる。

床土のpHが5.5以上の場合や緑化期以降に10℃以下の低温にあうと発生しやすい。また、苗の活力、特に根の活力を低下させ、根を傷つけるような管理（床土の乾燥・過湿を繰り返すなど）は発病を助長する。

#### ピシウム菌

フザリウム菌による被害と似て坪状に発生するが、地際にかびは見られない。なお、ムレ苗は本菌による場合が多い。

床土のpHが高い（5.5以上）と発病しやすく、緑化期に低温（5℃以下）にあうと発病しやすい。畑土を床土に用いたり、河川や池の水を灌水に利用すると発生しやすい。

## リゾープス菌

出芽時に箱全体、または一部が白いかびに覆われる。床土の表面や糞のまわりによく発生し、菌糸の層を形成する。根は短く、先端が異常にふくらんだりする。

床土のpHが高いと発病しやすく、出芽時に32℃を越す高温や、緑化開始10日頃までの低温は発病を多くする。

## トリコデルマ菌

出芽時に床土表面・糞のまわりに白いかびが生え、しばらくするとかびは青緑色となる。

床土のpHは4.0以下で発生しやすく、土壌水分が少ない場合に発生しやすい。

## リゾクトニア菌

下葉や葉鞘が灰色となり、葉腐れ症状を示す。葉鞘には菌糸がくもの巣状になり、初め白色、後に褐色の小さな菌核を作る。

本菌は野菜なども侵すので、畑土を床土として用いると発生しやすい。

## ☆細菌による苗立枯病

- ・いったん発生すると効果のある防除薬剤がないため予防を徹底する。

### もみ枯細菌病

坪枯れ状に発生し、腐敗した苗の芯葉を引っ張ると容易に抜ける。腐敗した苗は悪臭を放つ。

浸漬中に保菌糞から健全糞へ感染する。水温が10℃の場合感染は少ないが、水温が高くなるほど感染が進む。また、催芽温度も20℃～33℃では、温度・出芽温度が高いほど(25<30<35℃)発病が激しくなる。土壌は粘土質で水持ちがよいほど、pHが高いほど発病が多くなる。透水性がよく、pHが5.1以下では発病は少なくなる。は種密度が高くなるほど、窒素肥料の施用が多いほど発病が多くなる。

### 褐条病

出芽中に激しく発病すると腐敗枯死する。病気の進展が遅い場合は、2～3葉期に達した苗の葉鞘に暗褐色の条斑が現れる。条斑は葉身にも見られる。発病苗は育苗箱内に均一に分散して発生することが多く、坪枯れとはならない。

はとむね催芽器を使用すると多発しやすい。出芽および緑化期の高温は発生を多くする。出芽温度が32℃より低い温度では発病が少ない。

### 苗立枯細菌病

普通坪状に発生するが、ひどいときは箱全体の苗が枯死する。通常葉芯は腐敗しないため、引っ張っても抜けにくく、枯死した苗は先端がロール状に巻き、赤茶けた状態で乾枯する。病原菌は催芽時に急激に増加し、緑化期あるいは硬化期に発病する。

出芽および緑化期の高温、土壌の乾湿は発生を助長する。人工培土で発生しやすい。



## 育苗箱施薬による病害虫防除

使用時期	薬剤名	抵抗性誘導	いもち病	紋枯病	白葉枯病	もみ枯細菌病	内穎褐変病	穂枯れ(こま葉枯れ病菌)	イネハモグリバエ	イネヒメハモグリバエ	イネゾウムシ	イネミズゾウムシ	イネドロシオイムシ	ニカメイチュウ	イナゴ類	ツマグロヨコバイ	ウンカ類	ヒメトビウンカ	セジロウンカ	フタオビコヤガ	イネツトムシ	コブノメイガ	イネクロカメムシ	カメムシ類	イネシンガレセンチュウ	
			○																							
緑化期～移植当日	ブイゲットハコレンジャーL粒剤	○	50	50	50	50	50 (3日前～)					50	50	50		50	50			50	50	50				
	〃 (高密度に播種する場合)		50～100	50～100	50～100	50～100	50～100 (3日前～)					50～100	50～100	50～100		50～100	50～100			50～100	50～100	50～100				
	ブイゲットパディート粒剤	○	50		50	50				50		50	50	50	50	50			50 (3日前～)		50	50 (3日前～)	50			
	〃 (高密度に播種する場合)		50～100		50～100	50～100				50～100		50～100	50～100	50～100	50～100	50～100			50～100 (3日前～)		50～100	50～100 (3日前～)	50～100			
	ブイゲットフェルテラ粒剤	○	50		50	50 (3日前～)				50 (3日前～)		50	50	50	50		50				50	50 (当日)	50 (当日)			
	〃 (高密度に播種する場合)		50～100		50～100	50～100 (3日前～)				50～100 (3日前～)		50～100	50～100	50～100	50～100		50～100				50～100	50～100 (当日)	50～100 (当日)			
	ブイゲットプリンスリンパーL粒剤	○	50	50	50	50 (3日前～)	50 (当日)					50	50	50	50			50				50	50			
〃 (高密度に播種する場合)		50～100	50～100	50～100	50～100 (3日前～)	50～100 (当日)					50～100	50～100	50～100	50～100			50～100				50～100	50～100				
移植10日前～移植当日	Dr.オリゼパディート粒剤	○	50							50 (当日)		50	50	50 (3日前～)	50 (当日)	50			50		50 (3日前～)	50 (3日前)				
	〃 (高密度に播種する場合)		50～100 (3日前～)							50～100 (当日)		50～100 (3日前～)	50～100 (3日前～)	50～100 (3日前～)	50～100 (当日)	50～100 (当日)			50～100 (3日前～)		50～100 (3日前～)	50～100 (3日前～)				
移植7日前～移植当日	Dr.オリゼフェルテラ粒剤	○	50		50 (3日前～)	50 (3日前～)	50 (3日前～)			50 (3日前～)		50	50	50		50					50	50				
	〃 (高密度に播種する場合)		50～100 (3日前～)		50～100 (3日前～)	50～100 (3日前～)	50～100 (3日前～)			50～100 (3日前～)		50～100 (3日前～)	50～100 (3日前～)	50～100 (3日前～)	50～100 (3日前～)		50～100 (3日前～)				50～100 (3日前～)	50～100 (3日前～)				
	Dr.オリゼプリンス粒剤6	○	50		50	50						50	50	50	50		50					50				
	〃 (高密度に播種する場合)		50～100		50～100	50～100						50～100	50～100	50～100	50～100		50～100						50～100			
移植3日前～移植当日	箱いり娘粒剤	○	50	50	50	50	50	50		50		50	50	50		50	50			50	50	50				
	〃 (高密度に播種する場合)		50～100	50～100	50～100	50～100	50～100	50～100		50～100		50～100	50～100	50～100		50～100	50～100			50～100	50～100	50～100				
	箱大臣粒剤	○	50	50	50	50	50	50				50	50	50		50	50			50	50	50				
	〃 (高密度に播種する場合)		50～100	50～100	50～100	50～100	50～100	50～100				50～100	50～100	50～100		50～100	50～100			50～100	50～100	50～100				
	Cs.オリゼリディアEV箱粒剤	○	50	50								50	50	50 (3日前～)			50									
	〃 (高密度に播種する場合)		50～100 (3日前～)	50～100 (3日前～)								50～100 (3日前～)	50～100 (3日前～)	50～100 (3日前～)			50～100 (3日前～)									
	サンエース箱粒剤	○	50	50	50	50	50	50				50	50	50		50	50				50	50	50			
	〃 (高密度に播種する場合)		50～100	50～100	50～100	50～100	50～100	50～100				50～100	50～100	50～100		50～100	50～100				50～100	50～100	50～100			
	サントリプル箱粒剤	○	50		50	50	50					50	50	50		50	50				50	50	50			
	〃 (高密度に播種する場合)		50～100		50～100	50～100	50～100					50～100	50～100	50～100		50～100	50～100				50～100	50～100	50～100			
移植2日前～移植当日	ジャッジ箱粒剤	○	50		50	50				50		50	50	50		50			50	50					50	
	〃 (高密度に播種する場合)		50～100 (当日)		50～100 (当日)	50～100 (当日)				50～100 (当日)		50～100 (当日)	50～100 (当日)	50～100 (当日)		50～100 (当日)			50～100 (当日)	50～100 (当日)					50～100 (当日)	
	ツインキック箱粒剤	○	50		50	50				50 (当日)		50	50	50		50 (当日)					50	50				
	〃 (高密度に播種する場合)		50～100		50～100	50～100				50～100 (当日)		50～100 (当日)	50～100 (当日)	50～100 (当日)		50～100 (当日)					50～100	50～100				
	デジタルコラトトップアクタラ箱粒剤	○	50									50 (当日)	50	50		50	50							50 (当日)		
	〃 (高密度に播種する場合)		50～100									50～100 (当日)	50～100 (当日)	50～100 (当日)		50～100 (当日)	50～100 (当日)							50～100 (当日)		
	デジタルメガフレア箱粒剤	○	50									50 (当日)	50	50	50 (当日)		50 (当日)	50							50	
	〃 (高密度に播種する場合)		50～100									50～100 (当日)	50～100 (当日)	50～100 (当日)		50～100 (当日)	50～100 (当日)							50～100		
	トリプルキック箱粒剤	○	50	50	50	50	50			50 (当日)		50	50	50	50	50 (当日)						50	50			
	〃 (高密度に播種する場合)		50～100	50～100	50～100	50～100	50～100	50～100	50～100	50～100 (当日)		50～100	50～100	50～100	50～100	50～100 (当日)						50～100	50～100			
移植2日前～移植当日	ルーチンコア箱粒剤	○	50		50	50	50			50		50	50	50		50										
	〃 (高密度に播種する場合)		50～100		50～100	50～100	50～100	50～100	50～100	50～100		50～100	50～100	50～100		50～100										
	Dr.オリゼフェルテラグレートタム粒剤	○	50	50	50	50						50	50			50					50					
	〃 (高密度に播種する場合)		50～100	50～100	50～100	50～100						50～100	50～100			50～100					50～100					
移植2日前～移植当日	Dr.オリゼリディア箱粒剤	○	50							50		50	50	50	50	50	50				50					
	〃 (高密度に播種する場合)		50～100							50～100		50～100	50～100	50～100	50～100	50～100	50～100				50～100					
移植2日前～移植当日	シャリオ箱粒剤	○	50	50	50	50 (当日)	50 (当日)					50	50	50		50	50				50	50	50			
	ルーチンアドスピノGT箱粒剤	○	50	50	50	50 (当日)	50 (当日)					50	50	50		50	50				50	50	50			